

〒145-0061 東京都大田区石川町1-14-11  
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071  
Eメール jrroukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 小林 光昭  
編集人 高山 浩

2015年  
10月1日  
第366号

# JR東海労

http://www.geocities.jp/jrtoukairou/

## 戦争法案撤廃！安倍首相退陣！

### 連日開催の国会前集会に参加

安倍政権が強引・傲慢に押し進めている安保関連法案の撤回・安倍首相の退陣を求める集会、



野古埋め立てや原発再稼働に反対する集会が、連日国会前などで開催されました。各集会には、全

国から多くの市民が集まり、JR東海労は新幹線地本を中心に、JR総連の仲間と共に連続した集会に参加してきました。

9月9日「戦争法案廃案！日比谷大集会」、9月10日「戦争法案反対国会前集会(連続行動第17回)」、9月11日「戦争法案廃案！国会正門前大集会」、9月12日「止めよう！野古埋め立て9・12国会包囲」、9月14日「戦争法案反対！戦争法案廃案！安倍政権退陣！9・14国会包囲大行動」、9月15日連合「安全保障関連法案」成立阻止9・15国会前行動」と「戦争法案廃案9・15国会前集会」、9月16日「戦争法案廃案！9・16国会前集会」、9月17日「戦争法案廃案！9・17国会前集

時間外労働の免除、時間外労働の制限および深夜業務の制限の適用期間の拡大、③保存休暇の用途拡大、④苦情処理の範囲の追加、⑤基本協約の条文の改訂です。「制度等の改正に関する事項」として、①確定拠出年金企業型の導入、②施設優待の見直し、③防寒コート(接客)の見直し、④無期契約社員の休業事由の追加の見直しだけのものとした。本部は持ち帰り検討とし、同日「申第8号」として、重点項目である6項目について「再申し入れ」を行いました。

このような国民の声を無視して、安倍政権は9月19日、安保関連法案を強行採決したので、JR東海労は9月20日、参議院における「安全保障関連法案」の強行採決弾劾！「戦争のできる国」をつくり変えた安倍政権を許さず断固闘う声明を

9月18日「戦争法案廃案！9・18国会前集会」、9月23日「9・23さようなら原発、さようなら戦争全国集会」などです。

9月26日の第4回中央執行委員会において、これ以上の前進を勝ち取ることは困難と判断し、今次交渉について集約することとしました。さらに闘いを強化するために、本部はその最前頭で闘うことを表明し、共に闘い抜いた全組合員の皆さんに感謝申し上げます。

る若者を育てよう。

▼成立した安保法は何としても撤回しなければならぬ。そのためには、政権交代しかない。次期選挙は、安保法撤回を公約に掲げる候補者が過半数の当選でなければならぬ。政治に無関心な人をつくり出したのは、今の大人の責任でもある。職場から、政治に関心を

9月19日、参議院本会議で安倍政権は「安保関連法案」を強行採決した。文字通り、日本が「戦争のできる国」になった歴史的な日である。JR東海労は、安倍政権の強行採決を弾劾する▼昨年7月1日、憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認が閣議決定された。その報告書を出した「安保法制懇」の委員には、葛西名誉会長がいることを忘れてはならない。国会前で訴える市民の意見を一切無視する姿勢と、住民の意見を無視しリニア建設を強引に押し進める姿勢は共通している▼このような政権を選んだのは、言うまでもなく有権者である。自民党・公明党とその議員を投票した人は戦争政策の加担に値する。そして、投票を放棄した人も間接的に手助けしたといえる。「最大の戦争責任は国民の無知」という言葉がある。まさに、前回の衆議院選挙のことを指すといえる

本部は9月28日、2015年度基本協約・協定改訂交渉を集約し、会社に妥結を通告しました。本部は、8月7日「申第6号」として会社に申し入れて以降、組合員の切実な要求を勝ち取るために、本部・地本・分会と一体となって闘ってきました。

今交渉の柱は、①大津波警報が発せられた場合に新幹線の運行停止、②新幹線の列車火災対策、③ベースアップの一律配分、④年休完全取得、休日出勤の解消、⑤専任社員の労働条件の改善、⑥リニア中央新幹線建設中止の6項目でした。団体交渉は、「再申し入れ」に基づく団体交渉を含めて9回開催しました。本部は、粘り強く議論を行いました

9月15日、会社は第8回団体交渉で最終回答を示しました。回答内容は「協約等の改訂に関する事項」として、①育児休暇(小学校)の新設、②

## 組合員の要求実現せず 課題残しつつ基本協約・協定妥結

対して「当社における労働条件や福利厚生レベルはすでに高い水準にある」ことを理由に「現段階で協約を変える考えはない」と、不誠実な回答を繰り返しました。

9月26日の第4回中央執行委員会において、これ以上の前進を勝ち取ることは困難と判断し、今次交渉について集約することとしました。さらに闘いを強化するために、本部はその最前頭で闘うことを表明し、共に闘い抜いた全組合員の皆さんに感謝申し上げます。

9月19日、参議院本会議で安倍政権は「安保関連法案」を強行採決した。文字通り、日本が「戦争のできる国」になった歴史的な日である。JR東海労は、安倍政権の強行採決を弾劾する▼昨年7月1日、憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認が閣議決定された。その報告書を出した「安保法制懇」の委員には、葛西名誉会長がいることを忘れてはならない。国会前で訴える市民の意見を一切無視する姿勢と、住民の意見を無視しリニア建設を強引に押し進める姿勢は共通している▼このような政権を選んだのは、言うまでもなく有権者である。自民党・公明党とその議員を投票した人は戦争政策の加担に値する。そして、投票を放棄した人も間接的に手助けしたといえる。「最大の戦争責任は国民の無知」という言葉がある。まさに、前回の衆議院選挙のことを指すといえる



# 政府の犠牲になった満蒙开拓団 JR総連東海地協平和研修に参加



9月20日、新幹線関西地本は改憲阻止プロジェクトを中心に、「市民交流センター」がしよどがわ」で、第2回平和研修を開催しました。研修には、組合員の他、地域の仲間や家族が集まりました。

9月20日、新幹線関西地本は改憲阻止プロジェクトを中心に、「市民交流センター」がしよどがわ」で、第2回平和研修を開催しました。研修には、組合員の他、地域の仲間や家族が集まりました。

JR総連東海地協平和研修が9月24、25日、長野県阿智村で開催されました。研修には23名が参加、JR東海労からも積極的に参加しました。

初日は、満蒙(まんもう)開拓団の語り部・中島千鶴さんの講演を受けました。中島さんは、開拓団での生活、ソ連軍からの逃避行、収容所での生活、中国人としての生活、家族との別れなどについて、話されました。

2日目は、満蒙開拓平和記念館を見学しました。参加者からは、「非

常に良い勉強になった。二度と戦争を起こしてはならないと、改めて決意した」などの感想が出されました。

拓団は多大な犠牲者を出した。

245日間という戦後最長となった通常国会が閉会しました。この国会で、自・公の法案の強行採決など、強引な国会運営によって立憲主義・民主主義が破壊され、戦争放棄、平和主義の日本から「戦争のできる国」日本に大転換させられました。

9月18日の大混乱した安保法特別委員会、鴻池委員長「委員会再開

宣言」もないまま、なほ崩壊的に始められた委員会であり、そもそも委員会としては成立していないものです。委員会再開と同時に、委員でもない与党議員が委員長を「かまくら」のように取り囲み、それ以降、与党議員と野党議員が入り乱れた状態が8分続きました。

この安保法特別委員会の議事録を確認すると、「発言する者も多く、議場騒然、聴取不能、委員長退席」午後四時三十分」と、たった4行のみが記されていただけで、このことから何が採決され何が成立したか誰も解らない委員会だったことは明らかです。さらに、その法案を採決するために再開された本会議でも、安保関連法案を数の力で押し切りまし

9月20日、新幹線関西地本は改憲阻止プロジェクトを中心に、「市民交流センター」がしよどがわ」で、第2回平和研修を開催しました。研修には、組合員の他、地域の仲間や家族が集まりました。

関西大学法学部・高作教授より、「解釈改憲のクーデターを許さない」「戦争法」廃止/撤回を目標として」というテーマで講演を受けた後、活発な質疑応答がありました。組合員からの質問に対して、高作教授は「日米安保条約で米国が日本人の安全を保障するという明文化はない。日本人のために米兵が命を落とした事はない。逆に、沖縄では米兵によって県民の命がなくなっている。徴兵制は制度をつくる必要はない。ソフトな徴兵制(経済的理由による希望、企業の中の退陣自衛官の活用)になっていく。

抑止力は証明不可能。戦争が行われ攻撃されると『抑止力が足りなかった』となり、無限的な軍拡になっていく。経済力がある方が有利。消費税、配偶者控除の見直し等、防衛の問題は私たちの生活に直結している。自衛隊だけでなく国内の「陸海、空」の労働者は、当然、国の基幹産業として協力させられる。現場でしっかりとした議論が必要」と回答しました。

今研修では、「戦争法」の矛盾と問題点、疑問点を全体で学び、「戦争法」の撤回、廃止に向けて、闘うことを全体で確認しました。

「たしろ議員 便り」

9月15、16日、グランディー浜名湖(エクスンプ)において、第23回ゴルフ大会を開催しました。前日は、大懇親会で英気を養い翌日のプレーに備えました。成績は以下の通りです。

優勝・佐藤賢(新幹線) / 準優勝・剣持善昭(新幹線) / 3位・中西健二(名古屋) / 4位・加藤

9月28日の『毎日新聞』1面スクープで「憲法解釈変更」法制局1日で審査」過程公文書に残さず」と報道されていました。

昨年7月1日に閣議決定した集団的自衛権行使容認に必要な憲法9条の解釈変更の審査を内閣法制局は、前日の6月30日に内閣から依頼され「意見なし」とわずか1日で終了した上、公文書にも残さなかったことが報道で明らかになりました。通常、この種の審査には「天井まで積み上がるくらい」の文書の量と、少なくとも1年近くの時間が必要だろう。つまり法制局は、

今回は何もしなかったということだ」と、元官僚の小西洋之参議院議員が批判しています。

安保法を自・公の強権をもって成立させた直後に、安倍首相は「経済政策第三の矢」と、経済同友会もあり得ないと断じた「GDP600兆円」というアドバルーンを挙げ、またしても国民の目をそらすようとしています。

しかし、民主主義、主権在民を意識して行動に出た市民は、自ら冷静に判断し、安保関連法を「廃案」に追い込む闘いをスタートさせています。

戦争をしない国、平和主義・日本を取り戻すために、組合員の皆さんと共に闘うことを改めて強く決意致します。



抑止力は証明不可能。戦争が行われ攻撃されると『抑止力が足りなかった』となり、無限的な軍拡になっていく。経済力がある方が有利。消費税、配偶者控除の見直し等、防衛の問題は私たちの生活に直結している。自衛隊だけでなく国内の「陸海、空」の労働者は、当然、国の基幹産業として協力させられる。現場でしっかりとした議論が必要」と回答しました。

【満蒙開拓団とは】1931年の満州事変から1945年に至るまで、いわゆる旧「満州国」(中国東北部)、内モンゴル地区に国策として送り込まれた農業移民団で、終戦には約32万人いたといわれている。終戦直前、ソ連の対日参戦で関東軍から置き去りにされ、開

9月15、16日、グランディー浜名湖(エクスンプ)において、第23回ゴルフ大会を開催しました。前日は、大懇親会で英気を養い翌日のプレーに備えました。成績は以下の通りです。

優勝・佐藤賢(新幹線) / 準優勝・剣持善昭(新幹線) / 3位・中西健二(名古屋) / 4位・加藤



9月28日の『毎日新聞』1面スクープで「憲法解釈変更」法制局1日で審査」過程公文書に残さず」と報道されていました。

昨年7月1日に閣議決定した集団的自衛権行使容認に必要な憲法9条の解釈変更の審査を内閣法制局は、前日の6月30日に内閣から依頼され「意見なし」とわずか1日で終了した上、公文書にも残さなかったことが報道で明らかになりました。通常、この種の審査には「天井まで積み上がるくらい」の文書の量と、少なくとも1年近くの時間が必要だろう。つまり法制局は、

今後のサークル行事

JR総連西ブロック野球大会  
10月21~22日 大阪

第24回バレーボール・テニス大会  
11月10~11日 熱海市網代

第20回登山大会  
11月27~28日 箱根金時山

光典(本部) / ベストグロス・中山喜弘(名古屋)

## 解釈改憲のクーデターを許さないぞ! 新幹線関西地本第2回平和研修

拓団は多大な犠牲者を出した。

9月15、16日、グランディー浜名湖(エクスンプ)において、第23回ゴルフ大会を開催しました。前日は、大懇親会で英気を養い翌日のプレーに備えました。成績は以下の通りです。

優勝・佐藤賢(新幹線) / 準優勝・剣持善昭(新幹線) / 3位・中西健二(名古屋) / 4位・加藤

今回のサークル行事

JR総連西ブロック野球大会  
10月21~22日 大阪

第24回バレーボール・テニス大会  
11月10~11日 熱海市網代

第20回登山大会  
11月27~28日 箱根金時山

光典(本部) / ベストグロス・中山喜弘(名古屋)